



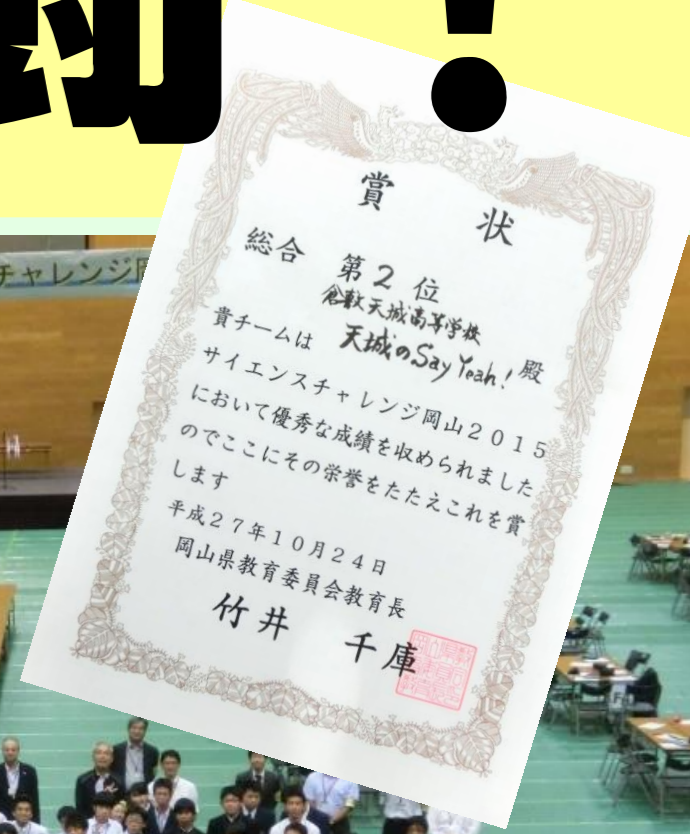
# サイエンスチャレンジ岡山 総合第2位！、<sup>惜しくも</sup> 大健闘！



開会宣言  
総合司会は本校の大野さくらさんが務めました



実技競技①（化学・物理分野）



開会式と筆記競技 第2位



実技競技②（生物・地学分野）第1位



実技競技③（工学分野）



平成27年10月24日(土), サイエンスチャレンジ岡山2015(兼, 「科学の甲子園」予選)が, 総社市の「きびじアリーナ」を会場に行われた。全県から39チームが, 本校からは「天城のSay Yeah!」, 「一酸化二水素」の2チームが参加した。科学的思考や工学技術に関する複合競技(筆記, 物理・化学実技, 生物・地学実技, 工学実技)に熱戦が繰り広げられた。その結果, 本校「天城のSay Yeah!」チームが惜しくも, 第2位となった。「科学の甲子園」本選への進出とはならなかったが2チームとも大!健闘した。

# 3年生 日本学生科学賞県審査 優秀賞獲得! 中央審査へ!



優秀賞

空気中で軽い2物体がふるまう  
奇妙な落下運動



奨励賞

油脂で培養したコウジカビ  
によるデンプンの分解性維持



奨励賞

余弦定理の拡張

平成27年10月24日(土), 第59回日本学生科学賞県審査の表彰式が, 岡山国際交流センターで行われた。本校から, 3年生, 1グループの優秀賞, 2グループの奨励賞を受賞した(上記写真, 諸行事と重なり表彰式には1グループが出席した)。なお, 優秀賞の「空気中で軽い2物体がふるまう奇妙な落下運動」の研究は, 中央審査(予備審査)へ送られ, 中央最終審査への進出が選考される。この中央最終審査は, ISEF(International Science and Engineering Fair:国際学生科学技術フェア)の選考につながる審査である。



Welcome to the field of scientific intelligence!  
Open your wings and fly to a new world!

10月号は  
速報版<sup>プラス</sup>です。



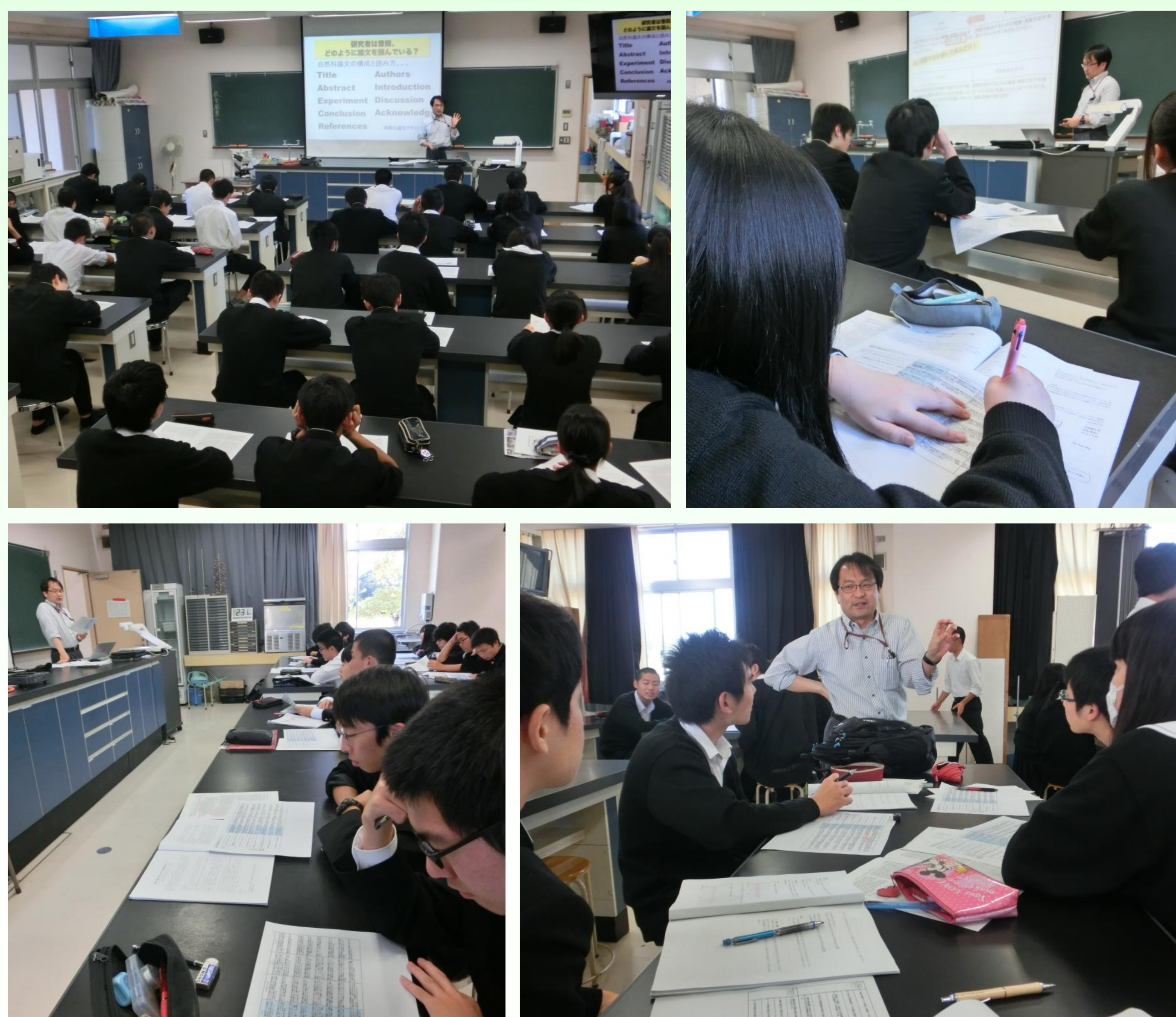
## 2年生 課題研究Ⅰ 中間発表会

平成27年10月7日(水)  
岡山大学大学院 教育学  
研究科 稲田佳彦先生を招  
き、課題研究Ⅰを締めくく  
る、9グループの研究成  
果発表会が行われた。この  
後研究を修正しながら、  
論文の作成、完成を目指  
す。



## 2年生 課題研究Ⅱ 「論文講習」

平成27年10月21日(水)、岡山大学大学院 教育学研究科 稲田佳彦先生による「論文講習会」が行われた。本講習会は、課題研究Ⅱ(研究論文作成)にあたり、どのような構成、視点で科学論文を表現するか、また、論文を作成する意義などについて、「論文評価のためのルーブリック(評価指標)」に基づき、正しく学習、理解するために毎年、行われている。全体講義の後、稲田先生から各研究グループごとに指導をいただいた。課題研究Ⅱは、本講習会を受け、研究内容の微修正を行いながら、来年、1月末の論文完成成果発表用スライドやポスター作成を目指している。  
なお、今回の論文講習会は、「公開授業」として、公開され、他府県の高校から2名の先生が参加された。



# 1年生 出前講座 in 中学校

「エッグドロップコンテスト」 岡山市立御南中学校



平成27年10月25日(日)、岡山市立御南中学校において、1年生9名が出前講座「エッグドロップコンテスト」を行った。この講座は御南中学校の中学1年生を対象とした土曜授業「百聞は一見にしかず」の12講座の1つとして行われ、中学生29名に「エッグドロップコンテスト」を通しての科学的な考え方や落下装置の作成ポイントを中心に「授業」を行った。最初、緊張状態から始まった授業だったが、徐々に打ち解け合い、中学生も熱心にコンテストに取り組み、好評であった。本校、高校生にとっても、中学生に「教えること」で科学的知識が自分のものになったり、コミュニケーションの方法を実感できるなどよい経験となった。

